

群馬ものづくり改善インストラクタースクール

第9期(太田校)受講生募集案内

募集期間

平成27年8月24日(月) ~ 平成27年9月18日(金)

公益財団法人 群馬県産業支援機構
群馬県

「群馬ものづくり改善インストラクタースクール」事業が目指すもの

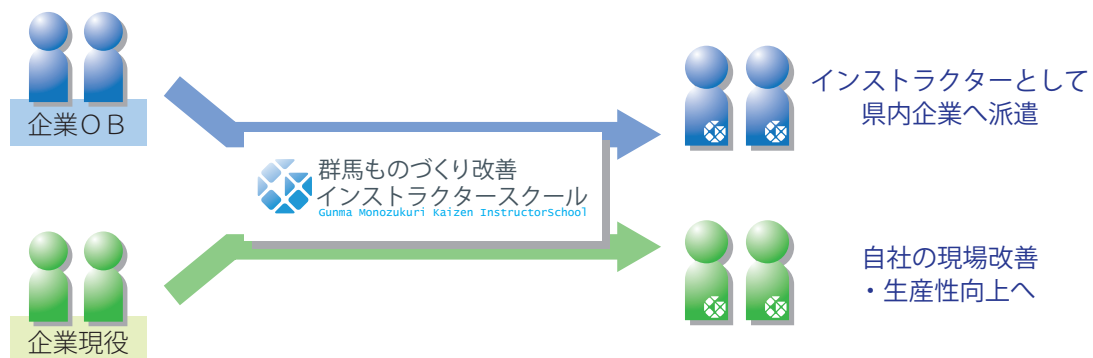
グローバル競争に直面する日本のものづくり。新興国を含めた諸外国に打ち勝つための「強い現場」とは、常に改善をし続ける、フレキシブルな対応力を持った人材の集合体であり、人材育成を抜きにして競争力向上を語ることはできません。

また一方で、定年退職を迎えた企業OBの多くが、豊富な経験とノウハウを持ちながら活躍の場が無いために、その技術を伝承することが出来ず、次世代人材の育成にはいまだ多くの課題が存在しています。

そこで群馬県産業支援機構では、大手製造業を退職した企業OBに中小企業の現場改善インストラクターとして活躍していただくともに、「自ら現場改善ができる人材」を中小企業の内部に育成することで、常に改善を続ける現場、すなわち「**自ら進化し続ける現場**」を創出することを目指し、「群馬ものづくり改善インストラクタースクール」を開講しています。

「群馬ものづくり改善インストラクタースクール」では、ベテラン人材である企業OBと県内中小製造業の中核を担う現役の人材とが共に学び、ものづくりの「流れ全体」を強く意識しながら、ムダのない「良い流れ」をつくる技術を徹底的に身につけます。

「良い流れ」つくる技術を身につけた現役人材が、俯瞰的な視点に立って自ら現場改善を行うこと、そしてOB人材が、長年の経験・ノウハウを客観的に言語化した形式知として学び直し、次世代人材へ伝承していくこと。こうした2つの動きを作って地域産業を活性化させ、群馬県全体の競争力向上に資することが「群馬ものづくり改善インストラクタースクール」の狙いです。



修了後の活躍

現役受講生の多くはスクール修了後、自社の改善活動の中心となって、生産性や品質の向上に取り組み成果を上げています。

また、企業OB受講生は群馬県産業支援機構によるインストラクター派遣事業「ぐんま改善チャレンジ」に基づいて、要請のあった県内中小企業へ赴いて改善支援活動に取り組んでいただきます。

スクールの特徴

東京大学ものづくり経営研究センターと共同開発した中小企業現場のためのカリキュラム

「群馬ものづくり改善インストラクタースクール」のカリキュラムは、部分的な改善指導ではなく、設計から製造、物流まで、ものづくりの流れ全体をみることが出来るインストラクターを育成するために、「ものづくりシステム」の国際的研究拠点である「東京大学ものづくり経営研究センター」との共同開発によって誕生しました。豊富な演習に加え、実際に中小製造業の現場で改善活動を行う現場実習など、「座学」「演習」「実習」をバランスよく組み合わせ合わせた体系的なプログラムで、中小企業の現場で今、本当に必要とされる知識を効率的に身につけることができます。

東京大学ものづくり経営研究センターの協力による経験豊富な講師陣

大手自動車・電機等の製造業出身者で、現場指導経験豊富な東京大学ものづくりインストラクターが主な講義を担当します。

また教材には、東京大学藤本隆宏教授の「生産マネジメント入門Ⅰ・Ⅱ」(日本経済新聞出版社)、および「東京大学ものづくりインストラクター養成スクール」のテキストをベースとする群馬オリジナルテキストを使用します。

継続的なフォローアップ体制

スクール修了生向けに「群馬ものづくり改善インストラクター会議」を定期的で開催、工場見学会などを通して、修了後も継続的なレベルアップを図ります。

東京大学ものづくり インストラクター養成スクール

- 製造現場のベテラン人材を、社内や地域で改善指導の師範として活躍できる人材に養成する「ものづくりインストラクターの師範学校」として、平成17年に開校。
- 藤本隆宏教授がセンター長を務める「東京大学ものづくり経営研究センター」による運営。

群馬ものづくり改善 インストラクタースクール

- 東京大学ものづくり経営研究センターの全面的なバックアップの下、地域の人材を地域で育て、地域で活かしていく「地域に合った師範学校」として、平成22年に全国で初めて開校。
- これまでに8期を開講し、93名が受講。

カリキュラム体系

概 論	1	ものづくりの基礎概念	ものづくりインストラクターとしての基本姿勢とものづくりの基礎概念とは何かを理解します。
	2	競争力と企業パフォーマンス	現場でのものづくり組織能力の大切さと収益力、インストラクターの仕事領域、パフォーマンスの計り方を理解します。
	3	品質管理	「ものづくり」で取り上げる品質の範囲と定義、品質管理のアプローチ、現場での兆候の発見方法などを理解します。
	4	フレキシビリティ	企業のフレキシビリティとはなにか、その必要性、要素を理解します。
	5	コストと生産性	原価企画と原価管理の仕組み、生産性とIE・標準作業との関連、ムダと生産性向上の概念、コスト低減策を理解します。
	6	納期・工程・在庫管理	納期 (D) と背後にある生産数量・生産期間 (T)、それらの管理について基礎的な概念を理解します。
	7	設備管理	設備投資の評価・決定、自動化の程度の選択、設備の保全の方法を理解します。
手 法 (理論・演習)	8	IE	現場の作業改善の基本であるIE (狭義のIE) を、実習を通じて理解します。
	9	標準作業と標準時間の設定	工場管理の基礎である標準作業と標準時間について、その設定方法を理解します。
	10	原価低減 (作業改善)	現場で利益向上・納期短縮に直接結びつく改善の方法を理解します。
	11	QC 7つ道具 新QC 7つ道具	起きている現象を定量化する基本ツールである7つ道具とKJ法、系統図法を理解します。
	12	不良削減及びポカヨケ	不良削減の価値を知り、問題を正しく捉えて対策を行うことで、後戻りしない策を理解します。
	13	原価低減 (VA/VE)	現場で図面や現物をベースにコストを改善する手法について理解します。

カリキュラム体系

手 法 (理論・演習)	14	5 S	企業体質の改善に有効である5Sについて、その意義、活動の進め方の理解を深めます。
	15	目で見える管理	誰もが異常値を発見できる状況をつくり、管理を効率化する“目で見える管理”の理解を深めます。
	16	現場の見方	どのような現場を目指し、そのために身に付けなければならない手法との関連を理解します。
	17	からくり講座 (特別講座)	作業員や設備に物を供給・回収する「からくり改善」の事例を通して、定義や基本機構を理解します。
	18	問題解決・リーダーシップとマネジメント	問題解決手法とその手順を、講座と演習によって理解するとともに、リーダーシップとマネジメントの違いを理解します。
	19	インストラクティングの基本	経営者や従業員と協力し、どのように効果を上げるかという視点に立った活動の進め方を理解します。
	20	現場改善の進め方	ものづくり現場に立ったときの基本パターン（兆候から改善への展開）を理解します。
現 場 改 善 (実 践)	21	現場改善実習	4人1組のチームに分かれ、企業の現場における改善策を検討する実習を行います。
	22	チームディスカッション	現場と改善案を再確認の上、チームによるディスカッションを行い更なる改善策の検討を行います。
	23	改善案まとめ	現場実習先企業に対して、最終的にどのような提案ができるのかについて、まとめを行います。
成 果 発 表	24	改善策提案(現場発表)	チームごとに現場実習先に対して、改善策の提案を行います。
	25	定石発表	受講生が現場実習先で作成した一部の改善策について定石のパターンを発表します。

第9期(太田校)の募集について

第9期スクールの概要

【受講期間】 平成27年11月27日(金)～平成28年2月20日(土)の金曜・土曜(計19日間)

【場 所】 金曜…群馬県立太田産業技術専門学校(太田市新野町157-1)
土曜…テクノプラザおおた(太田市本町29-1)

【募集定員】 12名

【講座日程】 下表のとおり

【募集対象】 次の(1)または(2)を満たし、生産管理・品質管理・生産技術などの経験があり、IE・ものづくりに関する予備知識を有する方

(1) 企業OB ・県内在住の大手、中堅製造業で工場などの現場経験豊富なOB
例：工場長、生産管理部門、生産革新部門責任者等(年齢不問)

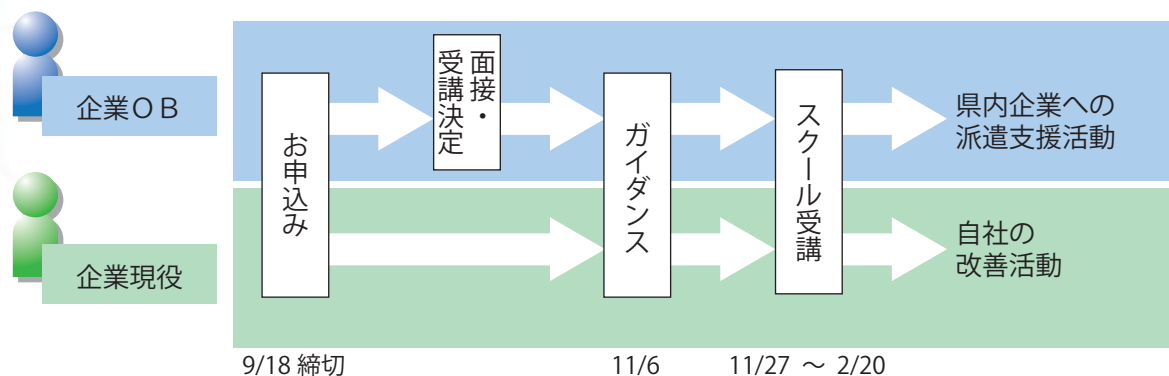
・スクール修了後、インストラクターとして県内企業への派遣支援活動が可能であること。

(2) 企業現役 ・県内に事業所を有する中小製造業者の現場リーダーまたは幹部候補者

実施日		9:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
1	11月27日 金	開講式	ものづくりの基礎概念		競争力と企業パフォーマンス		品質管理	フレキシビリティ		
2	12月4日 土	コストと生産性		納期・工程・在庫管理		設備管理		まとめ		
3	12月5日 土	I E								
4	12月11日 金	I E		標準作業と標準時間設定						
5	12月12日 土	原価低減(作業改善)	QC7つ道具・新QC7つ道具							
6	12月18日 金	不良削減及びボカヨケ		VA/VE		5S				
7	12月19日 土	目で見える管理			現場の見方			定石の作り方	からくり講座(特別講座)	
8	12月25日 金	問題解決・リーダーシップとマネジメント								
9	1月15日 金	インストラクティングの基本							現場実習 事前打ち合わせ	
10	1月16日 土	現場改善の進め方							現場実習 の進め方	
11	1月22日 金	実習現場調査			チームディスカッション					
12	1月29日 金	現場改善指導実習(1)								
13	1月30日 土	チームディスカッション								
14	2月5日 金	現場改善指導実習(2)								
15	2月6日 土	チームディスカッション								
16	2月12日 金	現場改善指導実習(3)								
17	2月13日 土	発表資料作成								
18	2月19日 金	現場発表(Aチーム)		現場発表(Bチーム)			現場発表(Cチーム)			
19	2月20日 土	成果発表(チーム)			成果発表(個人)			修了式		

※講座順序は変更になることがあります。

申込み・受講の流れ



1.お申込み

必要書類を9月18日(金)までに、(公財)群馬県産業支援機構 工業支援課あてにご提出ください。
 必用書類や宛先の詳細は、本誌末尾をご覧ください。

2.面接

書類選考の上、必要に応じOBの方のみ面接を実施します。
 ※面接の結果は、面接後速やかに申込者あてに通知します。

3.ガイダンス

受講者決定後、ガイダンスを実施します。(11月6日予定)

ガイダンスでは、藤本隆宏教授の著書「生産マネジメント入門 I・II」(日本経済新聞社)を教材として支給しますので、開講までの間、事前学習をお願いします。

4.受講

開講期間は平成27年11月27日(金)～平成28年2月20日(土)の金曜・土曜です。(計19日間)
 修了者には「群馬ものづくり改善インストラクタースクール修了証」を発行します。

5.修了後の活動及びフォローアップ体制

「群馬ものづくり改善インストラクター会議」を定期的で開催して修了生の交流を図り、工場見学会などを通じて情報の共有や指導活動のレベルアップを支援します。

また企業OB生は、修了後、インストラクター派遣事業「ぐんま改善チャレンジ」において、要請のあった県内中小企業への派遣指導に参加できることが必要です。派遣された場合には報酬があります。

受講料

ガイダンス(11月6日)から開講(11月27日)までの間に納入していただきます。

企業OB 10万円(消費税込)

企業現役 25万円(")

募集期間

平成27年8月24日(月)～平成27年9月18日(金) **必着**

修了要件

出席率が全体の概ね8割に満たない場合、修了の認定を行わないことがあります。(但し、現場実習には9割以上の出席が必要です。)

その他

- ・受講者には、デシマルストップウォッチのご用意をお願いしております。(詳細はガイダンスによる)
- ・現場実習時に、安全靴や作業着上下等のご用意が必要になる場合がございます。

お申込み方法

必要書類 ・申込書

・職務経歴書

・会社案内(パンフレット等。現役受講生のみ)

・所定の申込書に必要事項をご記入の上、職務経歴書および企業現役の方は会社案内を添えて、

(公財)群馬県産業支援機構 工業支援課宛て持参または郵送でご提出ください。(FAX不可)

・職務経歴書には市販の用紙などを使用し、受講生ご本人の職務のご経歴をご記入ください。

・申込書は(公財)群馬県産業支援機構で配布しているほか、以下のwebサイトからもダウンロードできます。

(公財)群馬県産業支援機構 <http://www.g-inf.or.jp>

お申込み・お問合せ先

(公財)群馬県産業支援機構 工業支援課

TEL: 027 - 255 - 6501

〒371-0854 前橋市大渡町 1-10-7 群馬県公社総合ビル 2階